

研究ノート

＜特集＞「カンボジアの環境と経済に関するセミナー」
カンボジアにおける新型コロナウイルス感染症の影響と対応

Impacts of and Responses to COVID-19 in Cambodia

サムレト・ソワンルン*、藤川清史†

SAMRETH Sovannroeun, FUJIKAWA Kiyoshi

要旨

カンボジアでは、2020年1月に新型コロナウイルス感染症の最初の患者が公式に確認され、「2021年2月20日の集団感染」以降、感染者数と死亡者数が著しく増加した。カンボジアの成長率は2020年にはマイナスを記録し、2021年についても回復するかは予断を許さない。新型コロナウイルス感染急拡大の抑制とその影響の緩和は、カンボジアでは比較的うまくいった。これは国内外の適切な対応によるところが大きい、しかし、国内および海外での新型コロナウイルスの今後の状況はまだ不透明であるので、楽観は許されない。今後とも、新型コロナウイルスの感染を抑制しその影響を緩和することで、新型コロナウイルス感染症収束後の回復に備える必要がある。

Abstract

Cambodia officially confirmed its first case of coronavirus disease 2019 (COVID-19) in January 2020, and the number of infection and death cases has significantly increased since the “February 20 community incident.” In 2020, Cambodia recorded a negative economic growth rate, and its growth forecast for 2021 does not seem very promising compared with that in the pre-COVID-19 decade. The control of the outbreak and the mitigation of the COVID-19 impact in Cambodia have been relatively good due to the responses at the national and international levels. However, challenges remain given the high uncertainty of the COVID-19 situation at the domestic and global levels. Efforts to control the outbreak, mitigate the ongoing impacts, and prepare for the post-COVID-19 recovery are necessary.

キーワード

カンボジア、新型コロナの影響、新型コロナへの対応

Keywords

Cambodia, COVID-19 impacts, COVID-19 responses

* 埼玉大学人文社会学研究科 准教授, e-mail: roeun99@mail.saitama-u.ac.jp

† 愛知学院大学経済学部 教授, e-mail: fujikawa@dpc.agu.ac.jp

1. はじめに

最初の新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）は2019年12月に中国で確認され、その後世界中に拡大した。それ以降2021年8月初旬までに、2億人以上が新型コロナに感染し、世界の死亡者は400万人を超えた（Worldometers 資料）。新型コロナは、感染拡大とともにアルファ株（イギリスで初検出）、ベータ株（南アフリカで初検出）、ガンマ株（ブラジルで初検出）、デルタ株（インドで初検出）といった多くの変異株を生み出した。これらの変異株のうちデルタ株の感染力が最も強いとみられており、タイやベトナムなどのASEAN諸国でも新型コロナ感染者数が再び増加している。図1は、ASEAN諸国における、2021年8月2日現在の新型コロナの感染者総数と死亡者総数である。ここからわかるように、新型コロナの感染者総数はインドネシアで最多であり、フィリピン、マレーシアが続く。しかし人口100万人当たりの感染者数（図2）を見ると、マレーシアが最多で、フィリピン、インドネシア、シンガポールで多く、状況は深刻である。

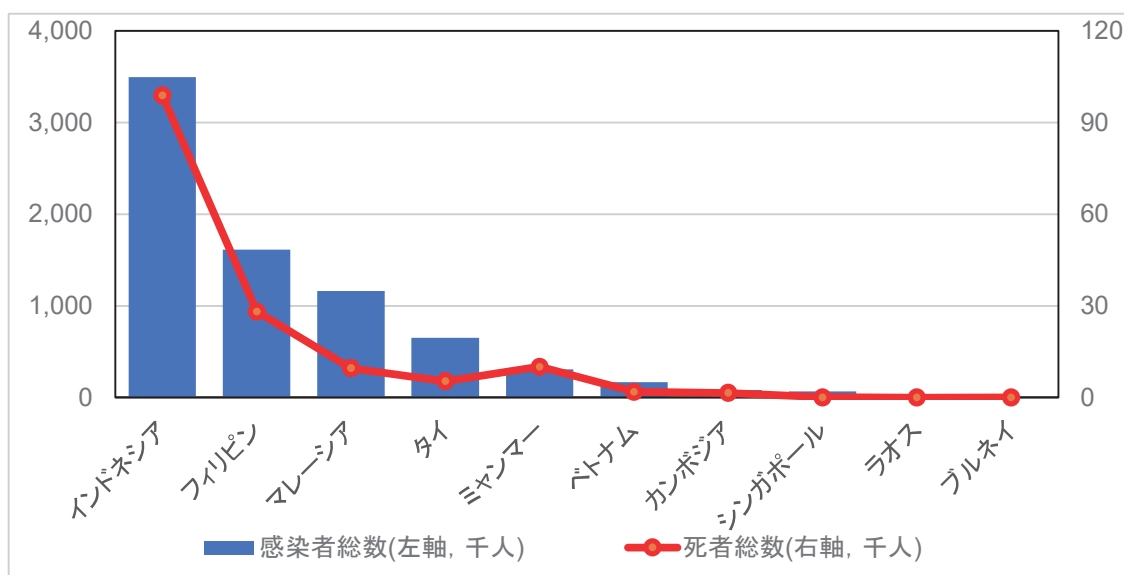


図1 新型コロナ感染者総数と死亡者総数（2021/8/2 現在）

出所：Worldometers のデータに基づいて著者作成。

カンボジアでは、2020年1月に最初の新型コロナ感染者が確認され、2021年8月初旬までに約8万人が感染し、そのうち約1,500人が死亡した。このような多数の感染者数と死亡者数はカンボジアにさまざまな社会経済的な影響を与えている。こうした影響を緩和するため、同国政府はさまざまな社会的支援や経済的措置を講じている。こうした措置の例としては、貧困世帯への現金給付、労働者への賃金補助、事業者や企業（アパレル、織物、履物、観光、航空など）の税負担軽減などがある。金融機関による債務の返済猶予も行われている。カンボジア政府は、2022年までに総人口1,600万人のうち1,200万人（成人1,000万人、12～17歳の青少年200万人）に新型コロナウ

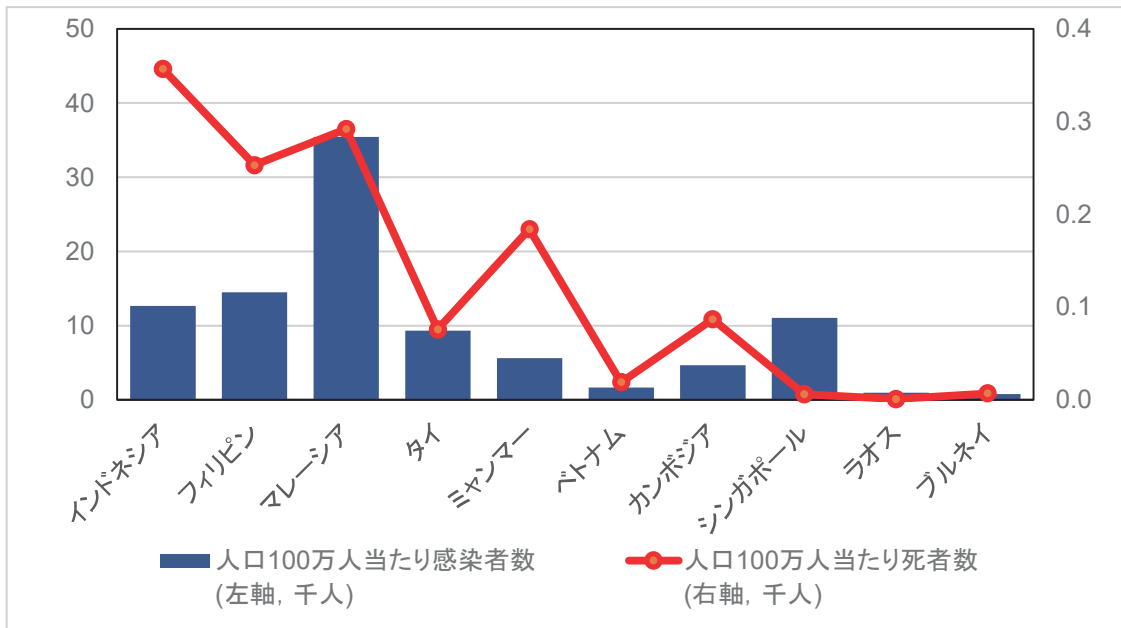


図2 人口100万人当たりの新型コロナ感染者数と死亡者数(2021/8/2現在)

出所: Worldometers のデータに基づいて著者作成。

イルスのワクチンを接種する計画をたてている¹。

本研究では、カンボジアについて新型コロナの影響を明らかにし、それに対する国内外の対応を説明する。本稿の構成は以下の通りである。第2節では、カンボジアにおける新型コロナの状況について述べる。第3節では、カンボジアにおける新型コロナの影響について考察する。第4節では感染急拡大に対する国内外の対応について説明する。最後に、第5節で本研究の結論を述べる。

2. 新型コロナウイルス感染状況の概要

2020年1月に最初の感染者が確認された後、カンボジアは2020年を通して新型コロナをうまく制御してきた。2021年2月中旬までは、同国では新型コロナウイルス感染者数は500人以下、死亡者数はゼロであった(Worldometers資料)。

しかし2020年のはじめに、カンボジアで新型コロナ関連の2件の事案が発生した。最初の事案は、2020年2月、カンボジア政府がホーランド・アメリカライン所有のクルーズ船ウェステルダム号にカンボジアへの入港許可を与えたことである。ウェステルダム号は2,557人の乗客乗員を乗せているが、新型コロナ感染の懸念があるため、日本、台湾、グアム、フィリピン、タイからは入港許可を得られず、2020年2月13日にシアヌークビル(Sihanoukville)港に入港した²。ウェステルダムの乗客は首都プノンペンへの観光も許可された。政府によるこの入港と乗客への観光への許可には、批判と賞賛の声

¹ 新華社ネット(Xinhua Net)の記事(2021年8月4日付け)参照。

² プノンペンポストの記事(2020年2月14日付け)参照。

の両方があった。批判派の中には、新型コロナ感染急拡大のリスクを強調する者もいれば、カンボジア政府の政治的戦略だと考える者もいた³。カンボジア国内の感染はウェステルダム号の帰港が原因だとは確定されなかった。世界保健機関（WHO）はウェステルダム号への対応についてカンボジア政府に謝意を表した⁴。

もう1件の事案は2020年3月10日にベトナムのホーチミン市からカンボジアのコンポンチャム（Kampong Cha）州へ向かう観光船バイキング・クルーズ・ジャーニー（Viking Cruise Journey）の乗客に新型コロナの感染者が確認されたことである⁵。この事案を契機として、カンボジアは積極的な対策を講じるようになった。この対策には、学校の一時閉鎖、新型コロナ感染症の影響が大きい国からの渡航制限、クメール正月や水祭りを祝日とすることの中止などが含まれる。

2020年11月には新型コロナ関連の新たな2件の事案が発生した。1件目の事案は2020年11月3日にカンボジアがハンガリー外務貿易相らの訪問を受けた際、その訪問団員の中に新型コロナの感染者が発見されたことである⁶。カンボジアの首相を含む、訪問団と直接・間接に接触した数千人の人々は14日間隔離されウイルス検査を受けた⁷。しかしながら、本事案での感染者は少数であり、警戒措置は2020年11月21日をもって終結した⁸。同月の2件目の事案は、2020年11月28日にプノンペンで集団感染が初めて確認された事案である（WHO（2020））。カンボジアの保健当局は、この集団感染の感染源は2020年10月以降、国境検疫をすり抜けて入国した外国人の可能性があると指摘した⁹。住民に対しては、集団感染の危険性への警戒を呼びかけた。その後、この集団感染に関連した警戒措置は2020年12月29日に解除された¹⁰。

上述のように、2021年2月中旬まで、カンボジアでの新型コロナ感染者数は500人未満に過ぎず、死亡者はいなかった。新型コロナの効果的な抑制の要因には、大規模な新型コロナウイルス検査、接触者追跡、国境を越えた移動の制限、学校の閉鎖、宗教行為の禁止などがある（Nit 他（2021））。

しかし、カンボジアの新型コロナウイルス感染症の状況は、2月20日に確認された集団感染事案により新たな局面を迎えた。ホテルでの隔離措置に違反し警備員に賄賂を渡してプノンペンの各所に出かけた中国人数人が、その後新型コロナウイルス検査で陽性となったのである¹¹。この集団感染事案は、カンボジアにおける大規模な新型コロナ感染急拡大の主要因と考えられており、感染はこの記事の執筆時点（2021年8月）でも継続している。図3は、2021年1月1日から8月2日までの週次確定症例数（前週を上回る確定症例数）を示したものである。これによれば、カンボジアにおける新型コロナの症例は、2021年2月下旬から急速に増加していることがわかる。2021年3月11日にはカンボジアで初めて新型コロナによる死亡者が確認された¹²。2021年2月20日から8月2日

³ ジャパンタイムズの記事（2020年2月24日付け）参照。

⁴ 世界保健機関 WHO の Web 記事（2020年2月25日付）参照

⁵ プノンペンポストの記事（2020年3月13日付け）参照。

⁶ クメールタイムズの記事（2020年11月11日付け）参照。

⁷ 世界保健機関 WHO の Web 記事（2020年9月25日付）参照

⁸ クメールタイムズの記事（2020年11月18日付け）参照。

⁹ カンボジア・ニュース・イングリッシュ（2020年12月3日付け）参照。

¹⁰ プノンペンポストの記事（2020年12月29日付け）参照。

¹¹ アルジャジーラの記事（2021年8月5日付）参照。

¹² 世界保健機関 WHO の Web 記事（2021年3月11日付け）参照

までの間、1日の平均確定症例数は約500例で、感染者総数は約8万人、死亡者総数は約1,500人であった。感染力の高いデルタ型の変異株がより大きな懸念を引き起こしている（WHO（2021））。

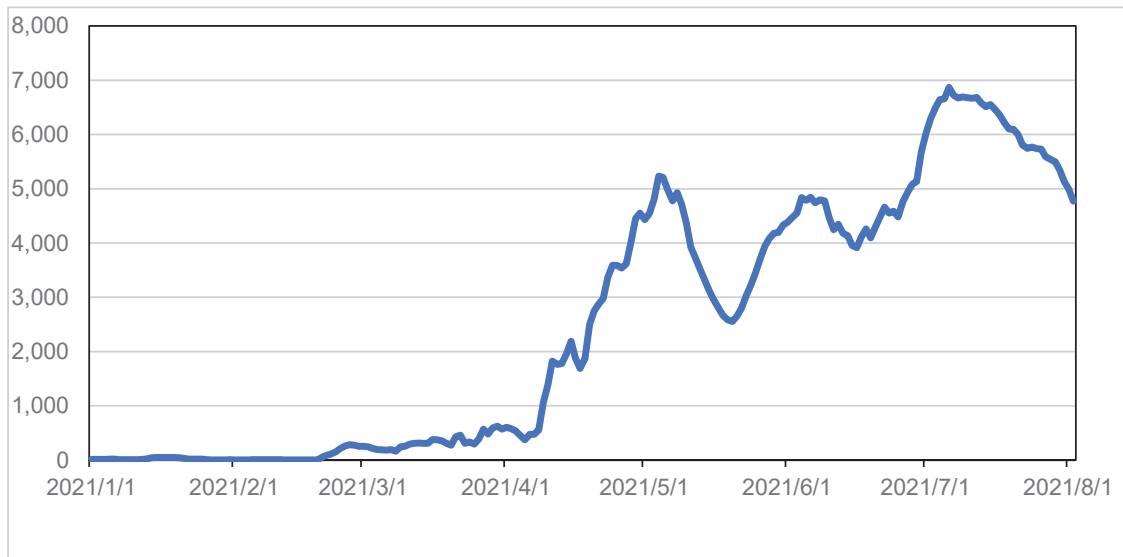


図3 カンボジアにおける新型コロナの週次確定症例数

出所：Our World in Data のデータを基礎に筆者作成

3. 新型コロナウイルスの影響

カンボジアでの新型コロナの感染状況は他の ASEAN 諸国に比べて軽微であるものの、新型コロナにより同国は様々な社会経済的課題に直面している。感染を抑制するために当局によって課された行政上・保健上の措置は、経済活動の大幅な減少へとつながった。とりわけ影響が大きかったのは、観光業、レストラン、そしてその他の娯楽などの対面型サービス産業とアパレル、織物、履物などの労働集約型産業であった。表1は、国際機関によるカンボジアの経済成長率である。カンボジアの経済成長率は2019年の約7%から2020年には新型コロナの影響により約3%のマイナス成長にまで落ち込んだ。これは過去10年間で最低の成長率である。国際機関は2021年の成長率は約4%に回復すると見込んでいたが、この数字の実現は不透明である。

表1 国際機関によるカンボジアの経済成長率見通し

	アジア開発銀行 (ADB)	国際通貨基金 (IMF)	世界銀行 (WB)
2019年	7.1%	7.0%	7.1%
2020年	-3.1%	-3.5%	-3.1%
2021年予測	4.0%	4.2%	4.0%または1.0%*

出所：ADB（2021a）、IMF（2021a）、World Bank（2021a）のデータをもとに著者が作成。

* ロックダウンや渡航制限が繰り返されることを想定した場合の緩やかな回復。

3.1 観光産業への影響

2017年の観光産業は、カンボジアの国内総生産（GDP）230億ドルの約20%を占める主要産業である（アジア開発銀行 ADB（2020））。年間で約660万人いた海外からの観光客は2020年には80%も減少し、観光産業の収益は50億ドル減少したと推定される（カンボジア観光省 MOT（2020）、太平洋アジア観光協会 PATA（2020））。カンボジアの主要な観光地にある中小・零細企業997社を対象に2020年7月に実施した調査によると¹³、事業収益が減少したと回答した企業は90%にもなった。加えて全従業員の約23%（1万238名）が新型コロナの影響で職を失った（Asia Foundation（2020））。観光産業の急激な落ち込みは、観光産業に直接・間接的に従事する人々の生活に深刻な影響を与えている。

3.2 アパレル、織物、履物産業への影響

カンボジア経済の観光に次ぐ主要産業はアパレル、織物、履物産業などの軽工業である。これらの産業は100万人近くの労働者を雇用し、新型コロナの感染拡大前はカンボジアの輸出総額の80%近くを占めていた（ILO（2019））。2020年当初は、中国からの原料供給が途絶したため生産が一時的に中断したが、低生産コストであることや中国からの原料供給ラインも早期に復旧したことで、ある程度の生産量は維持できている。とはいえ、これらの産業の主要輸出先である欧州連合（EU）と米国も新型コロナの深刻な影響を受けており、カンボジア企業に対して価格引き下げや支払い延期を求めている（Arnold（2021））。2020年には、アパレル、織物、履物産業の数百件の工場が、輸出の不振により生産の縮小や停止に追い込まれた（ILO（2020））。

2021年には、新型コロナの再拡大により、これらの産業の生産が再び中断された¹⁴。何万人もの労働者が職を失うか、長時間労働を強いられるようになった（Arnold（2021））。2020年8月にアパレル、織物、履物および観光セクターの労働者1,525人を対象に実施された調査では、新型コロナウイルスの影響により、これらの産業の労働者の雇用と所得が大幅に減少したことがわかった（Ngo 他（2021））。こうした状況は、彼らの所得に大きな影響を与えている。

3.3 金融業界への影響

経済活動は相互に関連しているため、新型コロナの影響は経済全体にわたっており、金融業界も例外ではない（Baldwin（2020））。カンボジアでは、民間部門に対する貸出が2019年に名目GDPの水準を上回るまでに成長してきた（World Bank（2019））。企業・家計は、銀行やマイクロファイナンス機関（MFI）などから資金を借り入れる。しかし新型コロナによる経済の落ち込みにより収益が減少しているため、資金の借り手は借入金の返済や新たなローンの獲得が困難になっている。預金受入を行っているマイクロファイナンス機関（MDI）の貸し出しの対前年増加率は、2019年の8%から2020年には5%に減速した。さらに貸し出しの対前年増加率は、預金取り扱いのないMFIでは、2019年には13%であったが2020年にはマイナスとなった（カンボジア国立銀行 NBC（2020））。利

¹³ 調査対象観光地はプノンペン、シエムリアップ、沿岸部、北東部（山岳部）。

¹⁴ クメールタイムズの記事（2021年7月8日付け）参照。

用可能な資金が限られているため、貧困家計や小規模事業者は危機的な状態に陥る可能性がある。

ただ、銀行・マイクロファイナンス業界の不良債権（返済が30日以上延滞している貸出）の比率の増加は小幅にとどまっている。不良債権があまり増加しない一つの理由として、カンボジア政府が金融機関に対して、2020年4月以降返済困難に陥った借り手への返済猶予を促したことがある（NBC（2020））。不良債権比率は、2019年第4四半期から2020年第4四半期にかけて、銀行部門で2.0%から2.1%に微増、マイクロファイナンス部門で0.8%から1.8%へとわずかな増加にとどまった（NBC（2020））。2020年末までに、約40億ドルの貸付（銀行は約30億ドル、マイクロファイナンスで約10億ドル）が返済猶予の対象になった（NBC, 2020）。

3.4 その他の影響

Karamba 他（2021）は、1,687世帯を対象とした調査をもとに、新型コロナが雇用、および収入を減少させたことを明らかにした。このほかの研究でも、新型コロナが生活に与えた影響は、貧困層と女性の間でより深刻であることを報告している（Asia Foundation（2020）、Im and Oum（2021））。さらに一部の調査によると、家計は所得減少対策として資金借り入れや消費の削減を行っていることが明らかになった。しかし、そのような対応は持続可能なものではなく、低所得家計をさらなる経済的困窮に追い込む可能性がある（ADB（2021b））。

また、ここ数か月でデルタ変異株がタイ経済により深刻な影響を与えたことで、多くのカンボジア人出稼ぎ労働者がタイから帰国し始めている¹⁵。また韓国、マレーシア、日本などの国々では、カンボジアからの出稼ぎ労働者たちが経済活動の低迷の影響を受けている。その結果、多くの農村世帯にとって重要な資金の源泉である海外からの送金は、2019年の15億ドルから2020年には12億ドルへと17%減少した（NBC（2020））。UNDP（2021a）は、新型コロナの投資資金への影響を分析し、カンボジアへの投資資金フローが、2020年に約36億ドル（全資金フローの19.8%に相当）減少したと推定している。

新型コロナは経済以外にもさまざまな影響を及ぼしている。Karamba 他（2021）によると、学校閉鎖により子供の学習時間が減少しており、その影響は遠隔教育を利用が限られている貧困世帯でより大きい。

4. 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナの影響を緩和するため、カンボジア政府は感染拡大の初期段階から様々な対策を講じてきた。2020年には約7億6,000万ドルの資金が支出され、2021年にはさらに多額の支出が計画されている（ADB（2021c））。国内の国民各層からの政府への寄付や公務員の給与からの寄付（政府への拠出）なども行われている。また、国際機関や開発援助の供与国は、カンボジア政府の新型コロナへの対応を支援している。

¹⁵ バンコクポストの記事（2021年7月14日付）参照。

4.1 国内の対応

2020年2月以降、カンボジア政府は、新型コロナの社会・経済への影響を緩和するためさまざまな施策を実施しており、2021年6月末までに、総合的な対策が9回にわたって発表された¹⁶。これらの一連の施策の主な目的は、貧困層の支援およびアパレル、織物、履物、観光、航空などの産業の救済である。

貧困層や脆弱世帯を支援するため、カンボジア政府は2020年6月に新型コロナ対策としてIDPoor制度を利用した現金給付を開始した¹⁷。当初計画ではこのプログラムの対象は56万世帯であったが、その後約70万世帯に拡大され、2021年6月までに、このプログラムを通じて3億2000万ドル以上が支出された¹⁸。1家計当たりの支給金額は、貧困状態と地域、家計の特徴（年齢、疾病状況等）によって異なる。

新型コロナの大きな影響を受けたアパレル・織物・履物産業、および観光産業の労働者の支援のために、2020年4月以降、30万人以上の労働者に対して、最大で月額40ドル（法定最低賃金の約20%）の賃金補助を行った。政府は2021年半ばまでにこの方法で3000万ドル近くを支出した（ADB（2021b）、ADB（2021c））。労働者が受け取る金額はレイオフされた期間によって異なる。新型コロナの影響を受けた対象産業の事業者は、国家社会保険基金（NSSF）に支払う労災保険と医療保険の保険料支払いを免除され、年金保険の保険料支払いも猶予されている（Asia Foundation,（2020））。

プノンペン、シェムリアップ、プレアシアヌーク（Preah Sihanouk）、ケップ（Kep）、カンポット（Kampot）、バベット（Bavet）、ポイペト（Poipet）各地域の観光産業・航空産業は、租税の減免措置の対象となっている（Asian Foundation, 2020）。納税とNSSFへの保険料の減免額の合計額は、2020年12月までに1億3000万ドル以上と推定されている（ADB（2021b））。2020年には、新設の中小企業銀行と農業農村開発銀行（国営）を通じて、中小企業を支援するために約1億3000万ドルの融資が実施された（IMF（2021b））。さらに、2021年3月に設立されたカンボジア信用保証公社（Credit Guarantee Corporation of Cambodia）にも資金が配分された。この機関はカンボジア企業再建保証制度（Business Recovery Guarantee Scheme）の下で新設された機関である（ADB（2021b））。

カンボジア国立銀行（NBC）は、新型コロナ対策の一環として、2020年3月以降さまざまな金融上の措置を導入している。例えば、金融機関の預金準備率を7%に引き下げ（従来の準備率は、KHR預金8%、外貨預金12.5%）、また金融機関の資金調達コストを軽減するために証券担保型流動性オペレーション（LPCO）の最低金利を0.5%引き下げた（NBC（2020））。またNBCは、借入金返済が困難になった債務者が返済猶予を金融機関に依頼した場合に、それに応じるように金融機関に対して促しており、2020年末時点で約40億ドルの債務の繰り延べがNBCによって要請されている（NBC（2020））。

またカンボジア政府はさまざまな保健上の対策も講じている。パンデミックの初期の段階から、政府の保健当局は新型コロナウイルス感染の予防に対する国民の意識と注意を高めるための様々なガイ

¹⁶ アセアン・ブリーフィングの記事（2021年7月7付）参照。

¹⁷ IDPoor制度は貧困者の生活支援を目的に2006年に創設された制度。

¹⁸ アセアン・ブリーフィングの記事（2021年7月7付）参照。

ダンスを発表している。このようなガイダンスには、マスクの着用、手洗い、社会距離の確保、体温チェックなどが含まれており、国境を越えた移動の規制も行われた。2020年12月、カンボジアは「3つのDo（マスク着用、手洗い、社会距離の確保）と3つのDon't（密集、密接、密閉の回避）」というガイドラインを発表した¹⁹。

「2月20日の集団感染事件」後、カンボジア政府は2021年3月11日に「新型コロナウイルス感染症およびその他の重大な感染症の感染拡大防止措置に係る法律」を制定した。同法によると、新型コロナ関連の保健措置に違反した者には、最高20年の懲役と5000ドルの罰金が科される²⁰。2021年2月以降の新型コロナ感染者数の急増により、カンボジアの医療施設の収容能力の限界が懸念されている。これを受けて政府は、国立競技場やいくつかの会議場・展示場・結婚式場を新型コロナ感染者の治療施設に転換した²¹。2021年4月6日、保健当局は新型コロナ在宅治療ガイドラインを策定した²²。緊急事態宣言の制度は2020年4月に制定されたが、いまのところ宣言が発出されたことはない。しかし、ここ数か月の間に様々な行政措置がとられ、特にデルタ変異株の急拡大を防ぐためにプノンペンをはじめ、バンテイメンチェイ（Banteay Meanchey）、バタンバン（Battambang）、カンダル（Kandal）、ココン（Koh Kong）、オッダールミエンチェイ（Oddar Meanchey）、プレアビビア（Preah Vihear）、パイリン（Pailin）、ポーサット（Pursat）、シェムリアップなど各地で、部分的なロックダウンや夜間外出禁止令が出された²³。

カンボジア政府は2021年2月から、シノファーム（Sinopharm）、シノバック（Sinovac）およびアストラゼネカ/コビシールド（AstraZeneca/Covishield）ワクチンを用いて、ワクチン接種活動を強化している。最近では米国からジョンソンエンドジョンソン（Johnson & Johnson）のワクチンの供与も受けている。2021年8月7日までに、約800万人（総人口の約50%）がワクチン接種を受けている（Our World in DataのWeb情報）。カンボジアのワクチン接種率は、隣国のタイやベトナムよりも高水準にあり、最近ではブースター接種（3回目の接種）や、12歳から17歳の青少年への予防接種活動も展開している²⁴。2021年8月7日までに、カンボジアでのワクチン総接種回数は約2150万回となった（シノファーム：720万回、シノバック：1150万回、アストラゼネカ/コビシールド：1739万回、ジョンソンエンドジョンソン：約100万回）²⁵。

4.2 国際的な対応

カンボジア政府は多くの国際機関や援助国から支援を受けている。世界銀行（World Bank）は、2020年4月にカンボジアの保健セクター支援に2000万ドルのコロナ対策緊急支援をおこなった（World Bank（2020））。また2021年6月にはカンボジア政府の被災者支援、経済回復、および今後の危機対応のために、2億ドルの低金利融資をおこなった（World Bank（2021b））。一方EUは

¹⁹ Office of the Council of Ministers（カンボジア首相府）のWeb記事（2020年12月15日付）参照。

²⁰ VDB-loiのWeb記事（2021年3月30日付）参照。

²¹ ロイターのWeb記事（2021年4月18日付）参照。

²² ロイターのWeb記事（2021年4月6日付）参照。

²³ ロイターのWeb記事（2021年7月29日付）参照。

²⁴ ロイターのWeb記事（2021年8月1日付）参照。

²⁵ クメールタイムズの記事（2021年8月7日付）参照。

2020年6月にカンボジア政府に対し約4億8000万ドルの低利融資をおこなった²⁶。そしてADBは2020年7月に、カンボジア「新型コロナウイルス感染症への積極的な対応及び支出支援プログラム」(CARES)に対して2億5000万ドルの低利融資を行った(ADB(2021b))。WHOや国連開発計画(UNDP)等の他の国際機関も、新型コロナ急拡大の初期段階から、カンボジアの保健セクター等に技術援助を行っている²⁷(UNDP(2021b))。

2国間レベルにおいて、カンボジア政府は、オーストラリア、中国、フランス、ドイツ、日本、韓国、米国等の支援国から技術的支援および医薬品や資金提供を受けている。例えば、日本は新型コロナ対策に最大250億円の低利融資を行うことに合意しており²⁸、さらに2021年6月までに、70台の救急車、10台のX線装置、63台の酸素発生装置、100台の集中治療室(ICU)ベッドなど、様々な医療機器をカンボジアに提供した²⁹。

上述のように、カンボジアは新型コロナのワクチンを買付けと寄付で調達した。COVAXファシリティプログラム³⁰のもと、2021年3月上旬にアストラゼネカ/コビシールドのワクチン32万4,000回分がカンボジアに到着した³¹。日本と米国は、COVAXファシリティプログラムへの貢献の一環として、アストラゼネカおよびジョンソンエンドジョンソンのワクチンをそれぞれ約100万回分、カンボジアへ供与した³²。ただし、カンボジアの新型コロナのワクチンは、中国が主要供給国である。2021年8月7日までに、中国のシノファームとシノバックは、カンボジアが調達した合計2150万回分のワクチンのほぼ90%を占めている。2021年8月上旬には、2国間援助の一環として、英国も41万5,000回分のアストラゼネカ製ワクチンをカンボジアに供与した³³。

5. 結論

2020年のカンボジア経済は新型コロナウイルスの影響によりマイナス成長となった。カンボジアはこれまで、国際機関や援助国の支援を受けて、さまざまな社会・経済的支援、保健・行政措置を講じたことで、新型コロナの感染拡大を抑制してきた。しかし、新型コロナの感染状況は依然として不透明である。カンボジアは、新型コロナ後の復興と新型コロナ感染拡大の抑制の両面に努力しなければならない。

²⁶ Cambodianess の Web 記事 (2021 年 8 月 7 日付) 参照。

²⁷ 世界保健機関 WHO の Web 記事 (2020 年 2 月 25 日付) 参照

²⁸ 国際協力機構 (JICA) の Web 記事 (2020 年 11 月 18 日付) 参照

²⁹ プノンペンポストの記事 (2021 年 6 月 5 日付) 参照。

³⁰ GAVI (ワクチンと予防接種のための世界同盟) が主導し、新型コロナのワクチンを複数国で共同確保するための国際的な枠組み。GAVI とは 2000 年に開催された世界経済フォーラムの年次総会 (ダボス会議) で発足したグローバル・パートナーシップ機関。

³¹ 世界保健機関 WHO の Web 記事 (2020 年 2 月 25 日付) 参照

³² 米国在カンボジア大使館の Web 記事 (2021 年 7 月 30 日付)、および、日本外務省の Web 記事 (2021 年 7 月 23 日付) 参照。

³³ プノンペンポストの記事 (2021 年 7 月 29 日付) 参照。

謝辞

この研究は 2020 年度公益財団法人高橋産業経済研究財団の研究助成を受けたものです。この場を借りて深くお礼を申し上げます。

参考文献

- Asian Development Bank (ADB) (2020) “The Economic Impact of the COVID-19 Outbreak on Developing Asia,” ADB Briefs No.128, Asian Development Bank.
<<https://www.adb.org/publications/economic-impact-covid19-developing-asia>>
- ADB (2021a) “Asian Development Outlook, April 2021,” Asian Development Bank.
<<https://www.adb.org/publications/asian-development-outlook-2021>>
- ADB (2021b) “Kingdom of Cambodia: COVID-19 Active Response and Expenditure Support Program First Quarterly Monitoring Report (July-September 2020),” Asian Development Bank.
<<https://www.adb.org/projects/documents/cam-54195-001-dpta>>
- ADB (2021c) “Kingdom of Cambodia: COVID-19 Active Response and Expenditure Support Program Second and Third Quarter Monitoring Report (October-December 2020 and January-March 2021),” Asian Development Bank.
<<https://www.adb.org/projects/documents/cam-54195-001-dpta-0>>
- Arnold, D. (2021) “Cambodia’s Garment Sector in Transformation: External Shocks, Political Space and Supplier Consolidation,” Utrecht: CNV International.
- Asia Foundation (2020) “Enduring the Pandemic: Rapid Survey on the Impact of covid-19 on MSMEs in the Tourism Sector and Households in Cambodia,” Cambodia Report, First Round of Surveys.
- Baldwin, R. (2020) “Keeping the Lights On: Economic Medicine for a Medical Shock,” VoxEU.org, 13 March.
- International Labour Organization (ILO) (2019), “Cambodia Garment and Footwear Sector Bulletin Issue 9,” International Labour Organization.
- ILO (2020) “Recommendations for Asian Garment Manufacturers on How to Address the COVID-19 Pandemic,” International Labour Organization.
- Im, S. and Oum, C. (2021) “How Was the Cambodian Cash Relief Program Assist Poor Women Affected by COVID-19 Economic Crisis?” Working Papers on Area Studies 135, Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University, Japan.
- International Monetary Fund (IMF) (2021a), “World Economic Outlook, April 2021,” International Monetary Fund. <<https://www.imf.org/en/Publications/WEO/Issues/2021/03/23/world-economic-outlook-april-2021>>
- IMF (2021b), *Policy Responses to COVID-19: Policy Tracker*, International Monetary Fund.
<<https://www.imf.org/en/Topics/imf-and-covid19/Policy-Responses-to-COVID-19>>
- Karamba, W., Salcher, I. and Tong, K. (2021) “The Socioeconomic Impacts of COVID-19 on Households in Cambodia, Report No. 4: Results from the High-Frequency Phone Survey of Households Round 4 (17 December 2020-12 January 2021),” The World Bank.
<<https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/35383>>
- Ministry of Tourism, Cambodia (MOT) (2020) “Tourism Statistics Report, December 2020,” Ministry of Tourism, Cambodia.
<<https://seishiron.com/wp-content/uploads/2020/12/CAM122020.pdf>>
- National Bank of Cambodia (NBC) (2020) “Financial Stability Review 2020,” the National Bank of Cambodia.
<https://www.nbc.org.kh/download_files/publication/fsr_eng/Final_FSR_2020_English.pdf>
- Ngo, S., Khon, L., Sour, M., Nuth, S. and Khun, S. (2021) “The COVID-19 Pandemic and Workers in Cambodia:

- Magnitude of Impacts on Suspended Workers and Implications for Policy and Programme Interventions,” Study Report No.13, Centre for Policy Studies, Cambodia.
- Nit, B., Samy, A., Tan, S., Vory, S., Lim, Y., Nugraha, R., Lin, X., Ahmadi, A., Lucero-PrisoIII, D. (2021) “Understanding the Slow COVID-19 Trajectory of Cambodia,” *Public Health in Practice*, 2, 100073.
<<https://doi.org/10.1016/j.puhip.2020.100073>>
- Pacific Asia Travel Association (PATA) (2020), “COVID-19 and the Tourism Sector: A Comparison of Policy Responses in Asia Pacific,” Pacific Asia Travel Association, Bangkok, Thailand.
- United Nations Development Programme (UNDP) (2021a) “Cambodia’s Development Finance Assessment,” UNDP. <<https://www.kh.undp.org/content/cambodia/en/home/library/cambodia-s-development-finance-assessment-.html>>
- UNDP (2021b) “Beyond Recovery: Towards 2030,” UNDP.
<<https://www.kh.undp.org/content/cambodia/en/home/coronavirus/support-to-national-response>>
- World Bank (2019) “Cambodia Economic Update, May 2019,” the World Bank.
<<https://documents1.worldbank.org/curated/en/843251556908260855/pdf/Cambodia-Economic-Update-Recent-Economic-Developments-and-Outlook.pdf>>
- World Bank (2020) “Cambodia COVID-19 Emergency Response Project,” the World Bank.
<<https://projects.worldbank.org/en/projects-operations/news-media/P173815>>
- World Bank (2021a) “Cambodia Economic Update, June 2021,” the World Bank.
- World Bank (2021b) “Cambodia Relief, Recovery and Resilience Development Policy Financing,” World Bank.
<<https://projects.worldbank.org/en/projects-operations/project-detail/P176756>>
- World Health Organization (WHO) (2020) “Cambodia Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Situation Report #26,” <<https://www.who.int/cambodia/internal-publications-detail/covid-19-joint-who-moh-situation-report-26>>
- WHO (2021) “Cambodia Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Situation Report #57,”
<<https://www.who.int/cambodia/internal-publications-detail/covid-19-joint-who-moh-situation-report-57>>

Web 情報・ニュース

- Aljazeera (2021年8月5日付) “Cambodia’s nightlife scene tests COVID success”
<https://www.aljazeera.com/news/2021/8/5/the-house-always-wins-cambodias-casinos-roll-the-dice-on-covid>
(2021年10月10日閲覧)
- ASEAN Briefing (2021年7月7日付) “Cambodia Issues Ninth Round of Stimulus Measures”
<https://www.aseanbriefing.com/news/cambodia-issues-ninth-round-of-stimulus-measures> (2021年10月20日閲覧)
- Bangkok Post (2021年7月14日付) “Over 2,000 Cambodian workers leave Thailand”
<https://www.bangkokpost.com/thailand/general/2148731/over-2-000-cambodian-workers-leave-thailand>
(2021年10月10日閲覧)
- Cambodianess (2021年6月11日付) “Cambodia to Receive \$483M from EU to Address COVID-19 Socio-economic Fallout”
<<https://cambodianess.com/article/cambodia-to-receive-483m-from-eu-to-address-covid-19-socio-economic-fallout>> (2021年10月10日閲覧)
- Japan International Cooperation Agency (JICA) (2020年9月18日付),
“Signing of Japanese ODA Loan Agreement with Cambodia: Contributing to COVID-19 Crisis Response in Cambodia through the Provision of Budget Support”
<https://www.jica.go.jp/english/news/press/2020/20201118_10_en.html> (2021年10月10日閲覧)

- Cambodia News English (2020年12月3日付) “Local COVID outbreak different strain from November 3 case”
<<https://cne.wtf/2020/12/03/local-covid-outbreak-different-strain-from-november-3-cases>> (2021年10月10日閲覧)
- Japan Times (2021年2月24日付) “Hun Sen’s political gamble: The COVID-19 epidemic”
<<https://www.japantimes.co.jp/opinion/2020/02/24/commentary/world-commentary/hun-sens-political-gamble-covid-19-epidemic>> (2021年10月10日閲覧).
- Khmer Times (2020年11月11日付) “Hungarian foreign minister infects his diplomat”
<<https://www.khmertimeskh.com/50781847/hungarian-foreign-minister-infects-his-diplomat>> (2021年10月10日閲覧)
- Khmer Times (2020年11月18日付) “November 3 incident close to end”
<<https://www.khmertimeskh.com/50783788/november-3-incident-close-to-end>> (2021年8月10日閲覧).
- Khmer Times (2021年7月8日付) “92 factory workers test positive in Phnom Penh factory outbreak”
<<https://www.khmertimeskh.com/50889985/92-factory-workers-test-positive-in-latest-factory-outbreak/>> (2021年10月10日閲覧)
- Khmer Times (2021年8月7日付) “Remaining Japan-donated AstraZeneca vaccines arrive in Cambodia”
<<https://www.khmertimeskh.com/50910426/remaining-japan-donated-astrazeneca-vaccines-arrive-in-cambodia>> (2021年10月10日閲覧)
- Our World in Data <<https://ourworldindata.org>>
- Office of the Council of Ministers (2020年12月15日付)
<<https://pressocm.gov.kh/en/archives/69457>> (2021年10月20日閲覧)
- Phnom Penh Post (2021年2月14日付) “Hun Sen to the rescue”
<<https://www.phnompenhpost.com/national/hun-sen-rescue>> (2021年8月10日閲覧)
- Phnom Penh Post (2021年3月13日付) “Three cruise ship passengers test positive for virus”
<<https://www.phnompenhpost.com/national/three-cruise-ship-passengers-test-positive-virus>> (2021年10月10日閲覧)
- Phnom Penh Post (2021年6月5日付) “Japan gives more ambulances for Cambodia’s Covid fight”
<<https://www.phnompenhpost.com/national/japan-gives-more-ambulances-cambodias-covid-fight>> (2021年10月10日閲覧)
- Phnom Penh Post (2021年7月29日付) “UK donates 415,000 doses of Oxford-AstraZeneca jabs”
<<https://www.phnompenhpost.com/national/uk-donates-415000-doses-oxford-astrazeneca-jabs>> (2021年10月10日閲覧)
- Phnom Penh Post (2021年12月29日付) “Nov 28 event concluded”
<<https://www.phnompenhpost.com/national/pm-nov-28-event-concluded>> (2021年10月10日閲覧)
- Reuters (2021年4月6日付) “Cambodia PM orders home treatment for COVID-19 patients as hospitals strain”
<<https://www.reuters.com/business/healthcare-pharmaceuticals/cambodia-pm-orders-home-treatment-covid-19-patients-hospitals-strain-2021-04-06>> (2021年10月10日閲覧)
- Reuters (2021年4月18日付) “Cambodia uses wedding halls for COVID patients as cases surge”
<<https://www.reuters.com/world/asia-pacific/cambodia-uses-wedding-halls-covid-patients-cases-surge-2021-04-18>> (2021年10月10日閲覧)
- Reuters (2021年7月29日付) “Cambodia to impose COVID-19 lockdowns in areas bordering Thailand”
<<https://www.reuters.com/world/asia-pacific/cambodia-impose-covid-19-lockdowns-areas-bordering-thailand-2021-07-29>> (2021年10月20日閲覧)
- Reuters (2021年8月1日付) “Cambodia to mix vaccines as booster shots to fight COVID”
<<https://www.reuters.com/world/asia-pacific/cambodia-mix-vaccines-booster-shots-fight-covid-2021-08-01>> (2021年10月10日閲覧)
- U.S. Embassy in Cambodia (2021年7月30日付) “U.S. Donates Over One Million Doses of COVID-19 Vaccine to Cambodia”

- <<https://kh.usembassy.gov/u-s-donates-over-one-million-doses-of-covid-19-vaccine-to-cambodia/>> (2021年10月10日閲覧)
- VDB-loi (2021年3月30日付)
“COVID-19 in Cambodia: What are the consequences of violating the COVID Law?”
<https://www.vdb-loi.com/kh_publications/covid-19-in-cambodia-what-are-the-consequences-of-violating-the-covid-law> (2021年10月20日閲覧)
- World Health Organization (2020年2月25日付) “A Small Country with a Big Heart: Welcoming the Westerdam”
<<https://www.who.int/cambodia/news/feature-stories/detail/a-small-country-with-a-big-heart-welcoming-the-westerdam>> (2021年10月20日閲覧).
- World Health Organization (2020年5月12日付)
“WHO works closely with the Royal Government of Cambodia in the fight against COVID-19”
<<https://www.who.int/cambodia/news/detail/12-05-2020-who-works-closely-with-the-royal-government-of-cambodia-in-the-fight-against-covid-19>> (2021年10月20日閲覧)
- World Health Organization (2020年11月25日付)
“WHO Calls for Continued Vigilance after 3 November Event” <<https://www.who.int/cambodia/news/detail/25-11-2020-who-calls-for-continued-vigilance-after-3-november-event>> (2021年10月20日閲覧).
- World Health Organization (2021年3月3日付)
“Cambodia Among First Countries to Receive COVID-19 Vaccines from COVAX Facility”
<<https://www.who.int/cambodia/news/detail/03-03-2021-cambodia-among-first-countries-to-receive-covid-19-vaccines-from-covax-facility>> (2021年10月20日閲覧)
- World Health Organization (2021年3月11日付)
“First Death Due to COVID-19 Reported in Cambodia” <<https://www.who.int/cambodia/news/detail/11-03-2021-first-death-due-to-covid-19-reported-in-cambodia>> (2021年10月20日閲覧)
- Worldometers
<<https://www.worldometers.info>> (2021年10月10日閲覧)
- Xinhuanet (新華社ネット) (2021年8月4日付)
“Cambodia has one of highest percentages of COVID-19 vaccination in region”
<http://www.xinhuanet.com/english/asiapacific/2021-08/04/c_1310106960.htm> (2021年10月10日閲覧)
- 日本大使館 Web “The Provision of COVID-19 vaccines to the Kingdom of Cambodia”
<https://www.mofa.go.jp/press/release/press3e_000218.html> (2021年10月10日閲覧)